

2019年9月24日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 81 「ヘルスリテラシーと学校健康教育, そして健康心理学」 渡邊 正樹 (東京学芸大学)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■日本健康心理学会第32回大会 (大会事務局)
9月28日(土), 29日(日)に帝京科学大学で日本健康心理学会第32回大会が開催されます。大会HP上でプログラムおよび発表概要(抄録)を掲載しております。必要に応じてダウンロード可能ですので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。当日参加も可能ですので、お知り合いの先生方にお声掛けいただき、多くの方々のご参加を、お待ちしております。

【日本健康心理学会第32回大会 ホームページ】
<http://www.jahp32.com/index.html>

■2019年度「本明記念賞」授賞論文の決定 (本明記念賞選考委員会)
『Journal of Health Psychology Research』第31巻に掲載された原著論文の中から、以下の論文が2019年度「本明記念賞」授賞論文として決定いたしました。
著者: 三浦 佳代・島崎 崇史・竹中 晃二
論文名: 脳卒中患者の活動性向上を目的とした介入プログラムの試行一介入時期に着目して—

日本健康心理学会第32回大会において、授賞式と受賞記念講演が行われます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。
詳しくは大会HP (<http://www.jahp32.com/program.html>) をご参照ください。

■研究推進委員会からのお知らせ

(1) 国際学術雑誌投稿支援制度のご案内
研究推進委員会では、特定の健康心理学関連の国際学術雑誌への投稿支援を行っております。
2019年度は、2019年9月1日から2020年3月31日までに先着2名まで募集いたします。
支援金: 修正投稿用の英文校正料5万円, 掲載時の奨励金5万円
申請方法: 随時受け付けておりますので、学会ウェブページ (<http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html>) をご参照ください。

(2) 研究部会制度のご案内
研究推進委員会では、健康心理学領域における研究の発展のため、研究部会制度を設けております。
学会が認める研究部会として、共同研究の実施などが行なえるほか、研究部会競争的資金獲得支援制度の申請が可能となります。
申請方法: 随時受け付けておりますので、学会ウェブページ (<http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html>) をご参照ください。

(3) 研究部会競争的資金獲得支援制度
研究推進委員会では、研究部会に属し、競争的研究資金を新規に申請

する予定である代表研究者を対象に、準備資金 (20万円以下) を支給する支援を行っております。
募集期間は、毎年1月1日から7月31日とし、採択は先着3件までとします (2020年度は、2020年1月1日から申請を受けつけます)。
申請方法: 詳しくは学会ウェブページ (<http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html>) をご参照ください。

(4) テクニカルワークショップ (テーマ「研究実践力を高めるための方法論を習得する」) を大会で開催します!
第32回大会2日目の9月29日(日) 11:10-12:40, B会場において開催します。
昨年も大盛況でしたが、今年度は研修委員会との合同企画となっており、希望者には健康心理士資格申請ポイントも付与されますので、皆様ふるってご参加下さい。

■健康心理学事典 (丸善) がまもなく出版されます! (健康心理学事典編集委員会)
学会編の出版物として、2年強をかけて取り組んできました「健康心理学事典」がまもなく出版されます。第32回大会 (東京: 9月28日-29日) で是非披露目ができる予定です。
学会総編集の成果ですので是非お手にとってご覧いただければと思います。

https://honto.jp/netstore/pd-book_29811987.html

■ヘルスサイコロジスト 79号の発行 (広報委員会)
ヘルスサイコロジスト 79号を添付にてお送りいたします。今回もとても興味深い記事が多く掲載されていますので、ご高覧いただけますよう、お願いいたします。

2) 健康心理学コラム Vol. 81

「ヘルスリテラシーと学校健康教育, そして健康心理学」
渡邊 正樹 (東京学芸大学)

2017年, 2018年と学習指導要領が改訂され, 2020年度には小学校の新学習指導要領が完全実施となります。私自身も学習指導要領の改訂 (保健体育科の保健) に関わってきましたが, 今回の保健の改訂では資質・能力の一つである思考力・判断力・表現力等による学習過程として, 健康情報を収集, 分析, 選択し, 課題解決につなげることが示されています。これは近年, 医学や看護学の領域, さらに学際的に広く取り上げられているヘルスリテラシーの概念とも重なります。筆者は1990年代後半に米国での在外研究中に, 学校健康教育の目標としてヘルスリテラシーと出会いました。学校健康教育で子供たちが目指す姿として, ヘルスリテラシーを身につけた人間が挙げられました。ただしヘルスリテラシーにはWHOや米国のHealthy People 2010をはじめとして多様な定義があり, 数多くの測定尺度の開発が試みられています (福田他, 2016)。健康心理学の研究領域としてみるならば, ヘルスリテラシーの下位概念や構成要素としての心理社会的要因とその測定に研究テーマを見出すことができると思います。筆者はこれまで主に中学生を対象に, ヘルスリテラシーの評価や授業づくりに関わってきましたが (山本他, 2018), 発達段階に応じたヘルスリテラシーの育成は未開発の領域と言えます。また諸外国ではメンタルヘルスリテラシーなど健康テーマごとの研究も進められており, これから発展が期待できる研究領域だと思われます。

文献

福田 洋・江口 泰正 (編) (2016). ヘルスリテラシー 健康教育の新しいキーワード 大修館書店
山本 浩二・渡邊 正樹 (2018). 中学生におけるヘルスリテラシーの

構造と保健知識及び生活習慣との関連—中学生用ヘルスリテラシー尺度の開発と保健教育への応用の検討—. 日本教科教育学会誌, 41, 15-26.

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止, アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは, こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>